

ときを越え
受け継がれるもの

竈神社

かまど

前沢区古城字北高大寺

JR東北本線西の田園風景の中に、社を構える竈神社。当地方屈指の宮大工であった飯坂弥五郎が建立した本殿は、精巧かつ優美な彫刻が施されている。旧前沢町は昭和61年、建築1000年を機に文化財として指定した。

坂上田村麻呂が東征の折、この地に竈を作ってしばらく駐留。次の戦に備えたという故事にちなみ、竈の神を祀ったのがこの神社の始まりといわれる。しかし、古くは竈神社と言わず、祭神三宝荒神の尊称から、住民は「荒神様」として崇拝。竈神社への改称は、明治5年の神仏分離以降であった。

平成23年の東日本大震災の影響で一部が損傷。基礎支柱のずれ、建物全体の傾きなどの被害を受けたが、ことし6月に修復工事が完了している。

本殿の周囲を取り巻く見事な彫刻は、神への崇敬の念と、先人のたゆまぬ努力がうかがえる。



1



2

1 北側から見る竈神社本殿 2 精緻な彫刻は宮大工の技術の高さを如実に表している 3 拜殿も地域住民の支援により修復



3



広告



※この広報紙は再生紙と植物油を使用しています。
※この広報紙は奥州市のホームページでもご覧いただけます。【本紙1部の印刷費用は約29円です。】